

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	子ども育成課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	2.子育て・子育て支援と教育学習環境の充実				
分野別方針	(4)「親育ち」の充実		実施計画事業	1)親育ち推進事業(No.14)				
予算等事業名	そだれん普及事業							
目的	そだれんを開催							
内容	ペアレント・トレーニング(親訓練)及び児童虐待の予防を目的とし講座を開催し、普及に努める。							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

総合評価

実績	CSP(コモン・センス・ペアレンティング)講座 そだれん(怒鳴らない子育て練習講座)通常講座2回、そだれんダイジェスト版1回開催(天候による中止1回)						
中間評価との相違点							
事業指標(数値指標)	参加者数						
前期(27年度)目標値	44人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
	単位: 人						
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	講座への参加者数			
	22人						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		95	76				
財源内訳	一般財源	12	13				
	国庫支出金						
	県支出金	77	61				
	その他	6	2				

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 育児に悩んでいる親を支援するための効果のある講座である	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 現在、職員2名がCSPトレーナーの資格を取得して実施しているが、今後トレーナー養成には費用が掛かってしまうため、外部講師に委託するのか検討が必要と思われる。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 受講前と受講後のアンケート結果により、怒鳴る回数が減るといった効果がみられる	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 講師は職員が行っている。主な費用は託児の保育士やボランティア(母が受講しやすいよう)への謝礼	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 ダイジェスト版は幅広い対象者が参加でき、通常講座受講への参加のきっかけにもなっている。通常講座は7日間の講座で、ロールプレイなども行い実践的な講座であり効果も出ている。単に怒鳴る回数が減っただけでなく、虐待防止にもつながっている	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	ダイジェスト版では土曜日開催や団体向けに開催するなどできるだけ、多くの親にそだれんを普及し、通常講座の参加にもつなげていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	そだれんは児童虐待予防の観点からも効果があり、育児不安の解消や親子関係の向上に寄与している。		
今後の方向性	受講機会が増えるよう、周知を図るとともに更なる講座の充実に取り組む。		